

この号の内容

1 「期末評価に向けた、アイデア、経験」のフィードバック

2020年度FD教員セミナー「オンライン課題・試験のHoppiiにおける活用事例ミーティング」のご案内

【本ニュース発行主体】

HOSEI2020 オンライン授業支援特設チーム

(教学統括副学長のもとに2020年度のオンライン授業を支援する目的で設置)

【事務局】

総長室付教学企画室

オンライン授業の成績評価の方法について プラン、アイデア、ご経験をうかがいました

本チームでは、6月12日に「悩める教員のためのオンライン授業(講義科目)の期末評価 Vol.1」を発行しました。

https://www.hosei.ac.jp/application/shibboleth_particular/4715/9218/0558/Vol.1.pdf

その後も、「いまだに期末評価の方法については考えあぐねている」との声が寄せられていることから、今回は学内から広く、プラン・アイデア・経験をお寄せいただき、本学内の知見・経験を交流・共有させていただけたらと、グーグルフォームを設置いたしました。以下に、この1週間にお寄せいただいた内容をご紹介します。

お時間割いて、ご経験をご教示くださった皆さま、誠に、ありがとうございました！

2020年度春学期オンライン授業の成績評価に関するプラン、アイデア、ご経験をお寄せください

1. レポート以外の試験を実施予定(中間試験などでご経験)の場合、どのような方法で実施し評価される予定(経験された)かお聞かせください

- Googleフォームで試験問題を作成し、それをQRコード化したものをPowerPointに貼り付け、学生はzoom画面を通してQRコードをスマホで読み込み試験を実施しました。試験前に学生には時間が来たら送信できなくなる旨を告げおきました。(語学系科目)
- 前期に制作した課題を解説したスライドの作成と発表(終了)。および課題を載せたポスターの制作とその発表(予定)。(演習科目)

2. レポート試験実施を予定・経験されている場合、どのような方法で実施し評価される予定（経験された）かお聞かせください

- GoogleClassroom を使用し、学生に作文の課題を課し、ルーブリックを元に評価しています。（語学系科目）
- 毎回（12回分）、テーマを設定してレポートを提出してもらっているのですが、それを毎回採点して、合計で成績評価を従来の基準で出す。学生にも最初にそのように話した。（100名以下講義科目）

3. 毎回授業で小テスト等の評価活動が行われている場合、どのような方法で実施し評価されているかお聞かせください

- 学生が次の授業で扱う教材の範囲を前もって読んでくることを促すために、「教材予習クイズ」を Google Classroom 内に簡単な問題を作成し、授業前までやってもらっています。（語学系科目）
- 毎回、レポートを提出してもらっている。（100名以下講義科目）

4. オンライン授業の成績評価の実施、採点について、困っていること、悩んでいることがありましたら、記載ください

- 途中まで授業に出ていた、まだ入国できていない留学生が突然授業に出てこなくなり、連絡も取れなくなりました。そのような留学生への成績評価をどのようにすべきか悩んでいます。（私は「日本語」の授業を担当していますので、学生は全て留学生で、多くの留学生がまだ入国できておらず、各々の国でオンライン授業を受けています）
- 口頭での「発表」も採点対象にしているが、今回は、スライドに音声貼り付けでそれを聞くだけの発表のため、相手に伝わったかどうかの評価ができない。そこはどうすべきか。今後、オンラインでの就活が増えることを考えると、オンラインでの発表をどうして行くべきかを考えないとならないかと。

グーグルフォームとは別に、以下の評価実施プランもご教示いただきました。

とても参考になる内容でしたので、あわせてご紹介させていただきます。ご教示ありがとうございます。

「講義科目 A(受講者 140 名程度)」は、例年は事前に問題を公表して答案を用意させ、それを持ちこむ形式のいわば授業内レポートでしたので、それをオンラインにするだけです。締切は厳格にしても問題ないと考えています。

「講義科目 B(受講者 40 名程度)」は、毎回の課題で評価することになっています。これは、教室授業を行う場合にも同じやり方をする予定でした。課題提出の形式上の締切は授業日の5~6日後ですが、学生のネット環境を考慮して、その後も提出可としています。（そのような訴えが一人だけありました。こちら側から操作できる最終締切は7月末に設定しています。）案外フィードバックが大変です。

「講義科目 C(受講者 180 名程度)」は、前半後半に分けて二人で担当していますが、相談して、例年はやっている語句説明のような知識問題をやめて、短めの論述問題を3~4題出題することにしました。事前に例題集を提示して、その中から出題するので、答案を用意しておくように告知してあり、当日は通常の2コマ分くらいの時間で締め切る予定です。ことによると、ネット環境のせいで時間中になかったという学生が出る可能性もありますが、それは個別対応になると思います。（次ページへ）

(前ページから続く)

「講義科目 A」と「講義科目 B」は、平常点にするつもりで、リアペ代わりのアンケートもとっています。紙のリアペはあつという間に読めるのですが、エクセルでダウンロードした感想を読むのは案外大変だということが分かりました。その他に掲示板も使っていますが、「講義科目 A」は数名がかなりマメに書き込むので、こちらもリプライが大変です。これは平常点にプラスすると告知しています。「講義科目 C」は、授業の感想や質問を書かせて、それに TA がリプライすることをやっていますが、これは平常点には含めません。

いかがでしょうか。どなたの内容も、科目の性格にあわせて、丁寧に考え、準備、展開されていて、とても学ばされます。皆さまも、ぜひ参考になさってください。

そして、もう少し他の先生方の話も聞きたいと思われたら、ぜひ以下の企画にもご参加ください。本ニュース前号では、同日同時刻に「オンライン授業の成績評価のための情報交流会」の企画をアナウンスいたしましたが、その後、同様の企画を同時期に準備なさっていた教育環境・学習支援センター (<http://www.hoseikyoiku.jp/lf/>) とご相談して、本チームの当初予定企画は下記の企画に合流することになりました。そこで、本ニュースでも、以下のご案内をさせていただきます。

＜ご案内＞

2020 年度 FD 教員セミナー

オンライン課題・試験の Hoppii における活用事例ミーティング

【開催日時】

7 月 4 日(土) 10:00～11:30 ※入退室時間は自由です。

(一部) 10:00～11:00 (セミナー形式) (二部) 11:00～11:30 (ミーティング形式)

【開催方法】

ビデオ通話ツール『ZOOM』を用いてオンライン形式でイベントを開催(予定)

※画面上で資料等を共有する可能性があるため、PC やタブレットでの参加を推奨いたします。

【お申込について】

下記よりお申込ください。申込には法政大学 gmail にログインする必要があります。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSd0v9L1bAJbB13CP_byxXERyS1cIlzDfGw2DEAFu_pXm37sHNg/viewform ※申込期限: 7 月 1 日(水) 15 時まで

詳しくは以下でご確認ください

<https://hoppii.hosei.ac.jp/portal/site/~911267/tool/36abe83f-4692-44f8-9fa6-0d0d3d2bff3f?panel=Main>